

CELLISSIMO

<http://kobe-cello.com>



第2回1000人のチェロコンサート・第1回神戸国際チェロフェスティバルは大成功でした。

1000人のチェロから NPO活動へ

〜今日までの歩みを振り返って

NPOが設立されるまで

1998年11月29日。当時ベルリンフィルハーモニーのチェリストでもあり団員代表だったヴァインスハイマー氏の発案により、氏の義理の母、故スザンナと親交のあったアマチュアチェリスト・松本が手作りで多くのチェリストを集め、ギネスにも載る史上最大のチェロアンサンブルコンサート『1000人のチェロ・コンサート』を成功させました。

そこには阪神淡路大震災復興支援と世界平和を願い、元ベルリンフィルの往年の巨匠チェリストたちをはじめ、アマチュアもプロも含め世界各国、そして日本全国から駆けつけた4歳から87歳まで、趣旨に賛同した総勢1013名が参集したのでした。コンサートは聴衆はもとより、演奏者一人ひとりが大きな感動を体験できるような素晴らしいものとなり、感動の実体験模様は以後に事務局に寄せられた当時の貝原兵庫県知事、ノンフィクション作家・柳田邦男氏からの感想書状にも溢れていました。

さらにコンサート後、予期していな

かった素晴らしいことが興り始めました。コンサート練習のために組織した「分奏グループ」から、

プロとアマ、年齢、職業、環境、活動地域の違いを越えたチェロアンサンブルが全国各地に沸き起こり、チェリスト間の新たな友情や信頼の関係を生み出すこととなったのです。

その成果の第一弾が、2000年11月18日に大分市内で開催された『1000人のチェロの同窓会』（正式には『有珠山復興支援チャリティ・1000人のチェロ・コンサート in 大分』）でした。中心となったのは『第1回1000人のチェロ・コンサート』で大分の分奏リーダーを務めてくださった白沢史子さん。白沢さんは大分に留まらず九州全体をも取りまとめてくださいました。

この大分の同窓会開催のために、先の全国に散らばる分奏リーダーを中心



神戸の感動が、まず大分に伝わりました。



大分でのチェロアンサンブルの成功が、その後の各地での波及効果を促進しました。



とする集まりが何度となくもたれ、「神戸の震災復興支援がもとで成し得た1000人のチェロをもう一度」という声とともに、「地方都市でもできることないだろうか?」「チェロを通じて社会に貢献できないものだろうか?」という数々の声が次第に起こってまいりました。そこで、

「チェロを通じて災害などで被害を受け苦しんでいる地域や人々の勇気づけや復興支援を行なう」
第二に
「チェロを通じて国際平和に貢献する」というものです。

こうして私たちは大分で「1000人のチェロ同窓会」を開催。遙か2000km離れた有珠山の被災地の方々への勇気づけと復興を願ってチェロアンサンブルを奏でました。参加者は全国約20都道府県、100余名。入場料とともに集められた浄財も30万円にのびりました。さらにその浄財を携えて、翌年2001年7月に有珠山の現地に向かうこととなったのです。

設立から 洞爺湖コンサート、 フェスティバル準備、 その実現まで

大分での同窓会開催と同時進行で進められていたNPOの設立準備ですが、2001年2月7日に兵庫県で、NPOとして正式に設立認証を受けることになりました。NPO最初の事業は「有珠山復興支援チャリティ・1000人のチェロ・コンサート」です。

2001年7月1日。有珠山麓洞爺湖温泉に北海道内10名、内地から12名、合計22名のチェリストが交通費、宿泊費すべて手弁当で参集。コンサートは同温泉内の文化会館で行なわれ、500余名の超満員の地元聴衆の方々に非常に喜んでいただけました。その模様は当日のNHKでも放映され、内外に有珠山の安心をアピールし、3分の1に激減した同温泉の観光客呼び戻しに少しとはいえず、お役に立つことができました。そして、それはNPO趣旨の「被災地の

.. Oita ◀.....Kobe ◀.....Berlin



2000 11.18 有珠山復興支援チャリティ・1000人のチェロ・コンサート in 大分

皆さん、こんにちは！大分の白沢です。

1998年11月の阪神淡路大震災復興支援チャリティ「1000人のチェロ・コンサート」参加者を中心に「チェロの音楽を通じて平和と復興支援を願ってチェロコンサートとホランティア活動を全国展開していく」という目的でNPO国際チェロアンサンブル協会を設立。その活動の第一弾として、2000年11月18日に催されたのが「有珠山復興支援チャリティ・1000人のチェロ・コンサート in 大分」でした。このコンサートには全国各地から約70名ものチェリストが集まっ

DATA
2000.11.18 (土) 15:30~
大分市コンパルホール
体育室 指揮 初山和明
■曲目
ヒムヌス・組曲二長調・レリジオーソ・グラヘトメ
ヌエット・セレナーデ・
花・荒城の月・早春賦・
チェロのためのレクイエム・
白鳥・鳥の歌

ていただき、また、1000人のチェロコンサートの名誉総裁でいらっしゃる高円宮憲仁親王殿下もチェリストのおひとりとして参加され演奏してくださいました。感激!!ありがとうございました。チェロを演奏されない方々も、裏方として大変な協力をしてくださいました。このサポートはホントに心強いものです。

さて、この大分からスタートし、今後続いていく1000人のチェロ・コンサート全国各地巡りをとても楽しみにしています。コンサートだけでなく、地方のおいしい食べ物とか、おいしいお酒とか、その土地の歴史とかもね。
大分へもいつでもどうぞ。2000年、大分に来られなかった方々、こちらへ来られる機会があれば連絡してください。白沢がご案内させていただきます。
《No.010044》
副理事長・白沢史子



日本初の チェリスト会報誌 『CELLISSIMO』 創刊に際して

パブロ・カザルスは、大きな“チェロ・オーケストラ”で演奏することを夢見ていました。そして、「ベルリンフィルの12人のチェリスト」をきっかけに、この夢が実現されたのです。1992年6月14日、ボンダムの新宮殿に341人のチェリストが集いました。これが初のチェロ祭典「CELLISSIMO GRANDIOSO」で、ギネスブックにも登録されました。プロとアマチュアが一緒に合奏する楽しさとすばらしさは日本にも及び、1998年11月29日にあの神戸での世界最大のチェロコンサート（1013人参加）に結びついたのでした。

このたび、NPO国際チェロアンサンブル協会から『CELLISSIMO』というチェリストの会報誌が発行されることとなりました。心からお祝いを申し上げます。この『CELLISSIMO』が、魅力いっぱいのチェロや大演奏家、アンサンブル曲などについて最新情報を発信してくれることを願ってやみません。もちろん指使いや弓の使い方、高い音のとり方といった読者からの質問にも答えてください。こういった情報によって、プロもアマチュアも、チェロ演奏をよりいっそう楽しめることでしょう。

チェロの魅力あふれる音色を愛する人は、世界中に数え切れないほどいます。この『CELLISSIMO』がさまざまな垣根を越えて世界中のチェリストをつなぐものとなりますように。

ルドルフ・ヴァインスハイマー *Rudolf Weinsheimer*
(翻訳・坂下明子)

復興支援、勇気づけ」を十分に満たすものでした。

同月開催の『第2回1000人のチェロ・コンサート』は、「ただ大勢のチェリストが集まるコンサートだけで終わらせたくない。小規模であってもせつかく集まっていたらいいチェリストの少しでもためになるように、喜んでもらえるものになりたい」という思いから『第1回神戸国際チェロフェスティバル』として開催する運びとなりました。日本人お2人を含む7名のマエストロチェリストと3名の楽器工匠を内外から招聘し、7月26日から29日の4日間会期で開催。『マエストロ公開レッスン』には受講者14団体32名、聴講者延べ450名。『マエストロによるリサイタル』には聴衆延べ1050名、『第2回1000人のチェロ・コンサート』には715名のチェリストが参加。うち海外14カ国70名、最年少7歳、最年長91歳、聴衆2282名。1日だけのコンサートと違い、フェスティバルを通して3〜4日間滞在することによる参加者同士のコミュニケーション増大は、期待以上の成果でした。

フェスティバル以後の活動、 日韓やソウルチェリスト

その成果のひとつが『日韓親善チェロコンサート』の実現です。同フェ



本番前の「旅の一座」
リハーサル風景です。

山々の陰を映して、美しさを際立たせている洞爺湖の湖面とは対照的に、噴火で破壊され、埋もれたままの建物や丸裸の山肌など生々しい風景を見ながら、未だ火

◀.....Toya.....▶

2000年11月に大分で開催された「有珠山復興支援チャリティ・1000人のチェロ・コンサートin大分」で集められた寄付金を有珠山の町、虻田町へお届けすることを兼ね、被害の最も大きかった洞爺湖畔の温泉地区で、昨年7月1日、1000人チェロの有志メンバー22人によるチェロコンサートが開かれました。

6月30日午後、北国とはいえず、汗ばむほどの夏の陽射しの中、札幌市南郊外真駒内にある南西岡小学校へ、全国各地から三々五々に仲間たちが集合、地元札幌の仲間と合流して、「たくみのみみ」こと松本理事長を座長とする「旅の一座」の旗揚げとなりました。さっそく幟旗のなびく大八車ならぬ大型ワゴン車にチェロを積み込み、一路洞爺湖へ向けて出発。

山々の陰

音楽的な完成度はともかく、客席からは一座の熱意に対して大変に熱い拍手をいただき、「山寺の和尚さん」では「おきじい」と横浜の沖氏の奏するおどけた木魚が客席を沸かせ、フィナーレを盛り上げたものでした。

熱く感動的だった仲間たちとのあの夏の日から一年、そろそろ次の「旅支度」が待ち遠しくなってきました。

《No.010161・荻川洋昭》

DATA
2001.7.1 (日) 15:00~
洞爺湖文化センター

■曲目
火の鳥・レリジオーソ・組曲二長調・メヌエット・即興曲・ブラジル風パッサム
1番より・チェロのためのレクイエム・セレナーデ・白鳥・花の街・早春賦・花・荒城の月・鳥の歌

2001
7.1 有珠山復興支援チャリティ・
1000人のチェロ・コンサートin洞爺

はじめての音楽専用ホールでの演奏となった日韓親善コンサート横浜公演は、W杯開催を目前に控えた日本と韓国の親善に音楽の分野からも大きく貢献しました。



名、韓国人29名の合計199名のチェリスト、約1500名の聴衆。ソウルには韓国人161名、日本人48名の計209名のチェリスト、約3200名の聴衆という盛況ぶりでした。「ソウルチェリステン」は、Na先生やハンナ・チャンの先生としても有名なHONG女史を含むソウル市内の音楽大学教授、オーケストラ首席奏者で構成されたアンサンブルグループで、東京・神戸にそれぞれ約50

ステイバルに40名のチェリストを引き連れて参加して下さったマエストロのおひとり、ソウル中央大学音楽学部長でチェロ科教授のNa先生との間で、「ワールドカップ開催年である本年にチェロで日韓交流を」という話がフェスティバル期間を通じてごく自然のうちに進められたのでした。

0名の聴衆を集め、その高い芸術性とアンサンブルに酔いしれました。この一連の相互交流のコンサートで、私たちは言葉がでなくともチェロを通じてお互いの友情と信頼を築き合えることを確認。個人的に友人関係を築いた参加者も多数おられました。さらに、Na先生とはお互いの国で継続的に交流を続ける可能性まで話し合われました。私たちはこの日韓親善チェロを通じて、ワールドカップという絶好のチャンスを活かし、NPOの二つ目の大きな趣旨目的である「国際交流・親善」を実現することができたのです。

社会的認知

『NPO国際チェロアンサンブル協会』を生み出した「1000人のチェロ・コンサート」では第1回目、第2回目の開催に際し、また『日韓親善チェロコンサート』in横浜において、高円宮憲仁親王殿下は名誉総裁にご就任くださいました。また、それぞれのコンサートに一チェリストとしても演奏して下さり、それは大変な名誉なことでした。1998年11月以來の「1000人のチェロ・コンサート」でいただいた幾度にわたる皆様のご挨拶。そのご明断的を得た、そして平易で分かりやすいお言葉は記憶に鮮明なところです。皆様は、ただお弾きになっておられるということに留まらず、「1000人のチェロ・コンサート」とそれに続くNPO活動の「社会性を持つもの」への大いなる協

Kobe



整然とした美しさで重厚なサウンドに演奏者も聴衆も酔いしれました。

1998年、Manchesterさんの紹介で松本さんにお会いし、第1回および第2回の「1000人のチェロコンサート」にボランティアスタッフとして参加させていただきました。今回のフェスティバルでの私の主な仕事は、会期中の4日間にわたる7人のマエストロの方々のコーディネートでした。前回のコンサートと異なり、今回は「公開レッスン」や「マエストロリサイタル」など、フェスティバルの内容も幅広く、また会場移動も多かったため、たった7人とはいえず、寝坊者あり、行方不明者あり、と小さなハプニングが続出。そのたびに皆で大騒ぎをして、ホテル中を走り回りましたが、最終的にはいつも時間どおりにリハーサルなどを始めることができました。第1回「1000人のチェロコンサート」の時に知り合ったチ

2001 7.26~29 第1回神戸国際チェロフェスティバル 第2回1000人のチェロ・コンサート

DATA

2001.7.26(木)~29(日)
 ワールド記念ホール、田崎ホール、ポートピアホール、国際会議場
 ■「第2回1000人のチェロ・コンサート」
 「マエストロリサイタル」「マエストロによる公開レッスン」「ワークショップ」「チェロクリニック」
 ■曲目 鳥の歌・映画音楽メドレー・ヒムヌス・チェロのためのレクイエム・組曲二長調・ブラジル風パッサ第一番より・各国メドレー・交響曲第九番二短調第4楽章より・白鳥



盛りだくさんのプログラムが組まれたフェスティバルでは、マエストロによるチェロクリニックも行なわれました。

《ボランティアスタッフ
 Ivonne (Ivabasa Baruschke)》

「音楽が人と人の心をつなぐ力を持っている」——松本さんがよく口にされるこの言葉を、今回は特に実感しました。楽しい思い出ばかりの「第1回神戸国際チェロフェスティバル」。このよつな素晴らしい経験をさせていただけました。松本さんに心から感謝しています。



『CELLISSIMO』創刊に寄せて

私が四十歳近くにもなってチェロを始めたのは、Yo-Yo Maと出会い、彼の音楽と人柄を知るようになったからでした。ヨーロッパの歴史がキリストの生誕によって《紀元前》と《紀元後》に分けられるようになったのと同様、チェロ音楽の歴史も《ヨーヨー前》と《ヨーヨー後》とに分けてもいいと思えるほど、彼のつくり出す自然で包み込むような音色は私を魅了しました。

なかなか練習の時間がとれないのですが、一緒に習っているわが娘たちにはせめて追い越されないようにとレッスンを続けてきたことが、神戸の松本巧さんというアマチュアチェリストとの巡り合いをつくりました。そして1998年11月29日、阪神淡路大震災被災者追悼『1000人のチェロ・コンサート』で、世界中から集まった1013人のチェリストの一人として、私も演奏することができたことは、忘れられない思い出となりました。

それは聴衆はもとより、演奏者の魂をも揺さぶる素晴らしいコンサートでした。しかし本当の意味で素晴らしかったのは、このコンサートがきっかけとなり、プロとアマ、年齢、活動地域の違いを越えて、友情と信頼がチェリストたちの間に生まれたことでした。昨年は神戸で第2回『1000人のチェロ・コンサート』とともに神戸国際チェロフェスティバルが開催の運びとなり、今年ワールドカップサッカーを記念して横浜とソウルで「日韓親善チェロコンサート」が開かれました。そしてその間には各地で「1000人のチェロ」同窓会があり、またボランティア活動も始まっています。

松本さんが文字通り東奔西走してつくりあげた「1000人のチェロ」は、このように多くのチェロを愛する人々の共感を得、その活動範囲はどんどん大きくなってきています。日本のチェロの歴史に《「1000人のチェロ」前》と《「1000人のチェロ」後》ができるのも時間の問題かもしれません。この『CELLISSIMO』誌が、さらに多くの賛同者・協力者を生み出していく原動力の一つになってくれることを期待しています。

憲仁

《No.010000》
高門宮憲仁親王



来日が楽しみなマリア・クリーゲルさん

今後の活動

今年10月5、6日は岡山県笠岡市にて『10000人のチェロ・コンサ

力者でもいらつしやるのです。ただ単なる「趣味のチェロ」から「チェロを通じて世の中のためにになりたい」。私たちのNPOはそんな人たちの集まりであり続けたいと願っています。

ートin岡山」を予定しています。同時にドイツの女流巨匠、マリア・クリーゲルのリサイタルを全国5カ所で開催。2003年5月はアリゾナでの『第7回全米チェロ大会』へのNPO組織で参加。同年7月にはミュンヘンフィルハーモニー12人のチェリストの全国ツアーを主催。2005年5月には日本チェロ協会との共催、全米チェロ協会特別後援で「国際チェロ会議」(仮称)を予定。さらに懸案として全国規模で潜在的チェロ習得希望者の組織的掘り起しなど、盛りだくさんに予定されています。

まずは、皆さんのご協力で「会員10000人のNPO」を目指していきませんか？

《No.010001 理事長・松本巧》

会員募集中

『NPO国際チェロアンサンブル協会へのお誘い』

- チェロを通じて災害などで被害を受け苦しんでいる地域や人々の勇気づけや復興支援を行なう
- チェロを通じて国際平和に貢献する

この2つの趣旨目的にご賛同いただけるNPO国際チェロアンサンブル協会会員を随時募集中です。会員の皆様方からまわりの方々にお声をかけていただければ幸いに存じます。神戸事務局までお問い合わせくだされば、入会のしおり並びに申込書を後日郵送させていただきます。また、ホームページからもダイレクトでお申し込みができます。

申込先

tel.078-392-1194
fax.078-392-1195
http://kobe-cello.com





コンサートマスターの佐久間豊春さんの指導はとてきめ細やかよく好評でした。



関東地区では初の開催となった。大田区にある池上会館が練習場として使われました。

2002 3.10

日韓親善チェロコンサート「横浜」

高田宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、韓国からはNa先生率いるソウルチェリストのメンバーを含む29人のチェリストを加えた199人のチェリストによる日韓親善チェロコンサートは、大成功のうちに幕を閉じたことは誠に喜ばしいコンサートだったといえるでしょう。

音楽を演奏するものにとつて、個人的な技術のほかに、アンサンブルは非常に重要な課題であることは誰もが認めるところです。今回の横浜公演は音楽だけでなく、チェロを通して日韓の間のフレイヤー同士のアンサンブルがまさに一つにまとまったコンサートであったといつていいでしょう。

これには、9日のウエルカムパーティーの果たした役割が、非常に大きなウエイトを占めていることは、みなさんよくご存知の通りです。翌日のステージリハーサルに続き、本番でも前日のコミュニケーションのシヨンのおかげで、韓国の人たちもリラックスした雰囲気の中で演奏に集中できたのは、最大の成果でした。

パーティー関係を担当された末松さんをはじめ、北島さん、田原さんたちの文字通り献身的なボランティア活動によって、両国プレイヤーが最大の盛り上がり

DATA
2002.3.10 (日) 14:00~
神奈川県民ホール 指揮山本祐之介
■曲目 プラームス交響曲第1番4楽章より・フンク組曲・アヴェマリア・アヴェベルムコルプス・美しく青きドナウ・カヴァレリアルスティカーナより間奏曲・ブラジル風パッサ第一番より・リベルタンゴ・韓国メドレー・花・ふるさと・ヒムヌス・鳥の歌・新ピチカートポルカ

りを見せたことによく現れています。さらに会計、総務、楽譜、チケット、印刷、会場、広報、選曲、そしてステマネ・フロマネ本番のステージを盛り上げていただいた司会者、演奏については山本・佐久間両先生の適切な指導に添えての熱演、これらが総合的に作用したからこそ成果だと思えます。過去2回の「10000人のチェロ・コンサート」では、実現不可能だった音楽専用ホールを使用できたことにも恵まれ、今までで一番音が良かったというのが、大半の聴衆の声でした。その後、4月14日のソウル公演では、日本からのお客様という感覚ではなく、自分たちの仲間が来たという雰囲気でも迎えられることに親善コンサートの成果がよく現れていました。

Okayama ←..... Seoul ←..... Yokohama

to be continued



韓国のみなさんのおもてなしを受けて、参加メンバー一同ご満悦でした。

DATA
2002.4.14 (日) 17:00~韓国ソウル世宗文化会館
指揮Na, Duk-Sung
■曲目 威風堂々より・フンク組曲・アヴェマリア・アヴェベルムコルプス・美しく青きドナウ・カヴァレリアルスティカーナより間奏曲・ブラジル風パッサ第一番より・リベルタンゴ・韓国メドレー・花・ふるさと・ヒムヌス・新ピチカートポルカ

「横浜」の後にはしばらく「金剛山」が鳴り続けていました。こんどは「アヴェ・マリア」が止まりません。頭の中でそのBGMを流しながら「ソウル」のほんのサワリのご報告をいたします。

神戸での「10000人のチェロ・コンサート」を聴いてうらやましかった。韓国にはまだああいう人たちはいない。ウマイヘッは問題じゃない(これを少なくとも3回は強調された。どんな人も一緒に弾く気持ちが大それた。そうそうしているうちにウチのナ

韓国のみなさんのおもてなしを受けて、参加メンバー一同ご満悦でした。

「横濱」の後にはしばらく「金剛山」が鳴り続けていました。こんどは「アヴェ・マリア」が止まりません。頭の中でそのBGMを流しながら「ソウル」のほんのサワリのご報告をいたします。

この、徒党を組んでナンボのチームと競争に勝ってナンボのチームのお互いが足りないところを補いあい、それはそれは素晴らしいコンサートでした。ブラジル風パッサハヤリベルタンゴの後はお客様から「キヤア〜！」って叫び声があがりましたで、ヤリイ〜！あの大拍手、素直にのせられてしまふなあ……。また一緒に弾いてね。

この、徒党を組んでナンボのチームと競争に勝ってナンボのチームのお互いが足りないところを補いあい、それはそれは素晴らしいコンサートでした。ブラジル風パッサハヤリベルタンゴの後はお客様から「キヤア〜！」って叫び声があがりましたで、ヤリイ〜！あの大拍手、素直にのせられてしまふなあ……。また一緒に弾いてね。

先生がそのへんな人たちとやりだした。これは韓国チェロ界にとっては大きな前進だ。てなことをおっしゃいました。こちらはホビータンゴの学生さん、サラリーマンに自営業に、リタイアしたおじさんが圧倒的に主流。片や韓国側は、音大、芸大教授、プロチェリスト、それらの弟子学生、といつその道のみなさん。それも先祖代々が結構いる。ところがアンサン、このハイボジを何の顔面もなくペロペロ弾くような連中が、走りよりまんねんがな！リベル・タンゴのあのリズム、そしてウィラ

《No.010025・井上ほのか》

2002 4.14

韓日親善チェロコンサート「ソウル」

NPO国際チェロアンサンブル協会 (ICES) の活動の輪が広がっています。
2002年の今年もめじろ押し。それぞれご期待ください。

event

☆参加者募集

♪ 笠岡市市制施行50周年記念行事
2002笠岡 (Kasaoka) チェロフェスティバル
「1000人のチェロ・コンサートin岡山」

岡山県の西南、自然に恵まれた笠岡市でこの秋、『1000人のチェロin岡山』が開催されます。アンサンブルコンテストやマリア・クレーゲルのリサイタルも同時に楽しめるこのイベントにぜひご参加ください。コンサートへのエントリー資格などの詳細やお申し込み方法については、事務局までご連絡いただきましたら、追ってご案内・申込書を差し上げます。

●10月5日(土)

『アンサンブルコンテスト』
参加資格：トリオ以上のアンサンブルとする。当日飛び込み参加も可
『1000人のチェロ・コンサートin岡山』
予定曲目：鳥の歌、クレーゲル/ヒムヌス、フクク/組曲、ゴルターマン、三枝成彰/チェロのためのレクイエム、サン＝サーンス/白鳥、杠先生編曲作品 全約45分の演奏
(コンサート後は打ち上げ)

●10月6日(日)

『マリア・クレーゲルの公開レッスン』
受講料：2万円/人、60分/2名
『マリア・クレーゲル リサイタル』
入場料：5,000円
<場所> 笠岡市民会館ホール
笠岡市へは岡山空港から車で1時間、新幹線新倉敷駅および福山駅乗り換え、在来線で笠岡駅下車
<参加費> 3000円
(クレーゲルのリサイタル鑑賞券を含む)
※演奏会のみ参加は1000円を予定しています。

☆コンサートのお知らせ 会員限定割引
『マリア・クレーゲルリサイタル』

10月6日の笠岡市を皮切りに全国5カ所で行なわれる『マリア・クレーゲルリサイタル』ツアーのご案内です。

●10月6日(日)

岡山・笠岡市民会館 (笠岡市主催)



●10月7日(月)
福岡 コスメイト行橋文化ホール (NPO国際チェロアンサンブル協会主催)

●10月9日(水)

神戸文化ホール中ホール (NPO国際チェロアンサンブル協会主催)
※ 8日(火) 神戸文化ホールにて公開レッスンあり

●10月11日(金)

山形・天童市市民プラザ多目的ホール (天童市教育委員会、天童市市民プラザ主催)
※ チケット：2500円 (学生1500円)
問合せは天童市市民プラザ
tel.023-654-6200まで

●10月13日(日)

東京・第一生命ホール (NPO国際チェロアンサンブル協会主催)

演奏曲目は5月現在、提案が行なわれている段階ですが、ドヴォルザーク/ソナタ作品100、オール/カルメン幻想曲、ベートーヴェン/ソナタ1長調作品102-1などのAプログラム、ベートーヴェン/ソナタ二長調作品102-2、シューマン/三つの幻想曲、ヤナーチェク/メルヘンなどのBプログラムが予定されています。
チケット価格は、11日の天童市以外、NPO国際チェロアンサンブル協会が主催する神戸および東京公演を含めすべて同日5,000円(前売4,500円)ですが、会員本人様に限り4,000円で提供させていただきます。お申し込み、お問い合わせはNPO国際チェロアンサンブル協会事務局まで。

☆参加者募集

『マリア・クレーゲルの公開レッスン』

10月初旬にリサイタルツアーが予定されているマリア・クレーゲルによる公開レッスンが神戸でも以下の要領で行なわれます。

●10月8日(火) 16:00~19:00

神戸文化ホール中ホール
受講料：会員15,000円、一般2万円 (3~4名を予定)
レッスン内容：ソロ演奏(アンサンブル不可) ピアノ伴奏が必要な方は受講生の方でご用意ください。

通訳者はこちらで対応いたします。
応募資格：中学生以上、5年以上の経験者、ソナタ程度が弾ける方(いずれの条件も満たしている方に限ります)
※テープ審査あり
応募方法：NPO規定の申込書に記入の上、レッスンを受けたい曲(15分以内)を録音したテープ・CD・MDを送付。〆切は7月末。
レッスン聴講：会員は無料(一般は1000円)。※聴講券が必要

♪ 受講希望申込書、レッスン聴講券をご希望の方、その他お問い合わせなどは、事務局までご連絡ください。

concert

☆ミュンヘンフィルハーモニー
12人のチェリスト

NPO国際チェロアンサンブル協会主催『ミュンヘンフィルハーモニー12人のチェリスト』のコンサートツアーが、来年7月に全国10カ所で開催されています。『ミュンヘンフィルハーモニー12人のチェリスト』は、昨夏の『第1回神戸国際チェロフェスティバル』にご参加いただいたマエストロの一人、シュテファン・ハークさんをリーダーとするチェロアンサンブルグループです。1986年、ミュンヘンフィルハーモニーのガラコンサートをきっかけに結成された後、ドイツ、スペイン、イタリア、オーストリア、ベルギー、ノルウェーでツアーを行なってきましたが、ヨーロッパ以外の地では、この日本が初のコンサートツアーとなります。ミュンヘンフィルの前指揮者チェリビダッケ氏にも特別高く評価されていたというチェリストメンバーの演奏レベル。生の音、そして聴衆との一体感にこだわり、活動の場を録音よりもライブに求めてきた彼らが、あたたかく感動的な音色で、おなじみのチェロアンサンブルナンバーを美しく奏でてくれることでしょう。
乞うご期待!!



À.LA.CARTE



カニとシャコは笠岡の自慢の魚介。ぜひご賞味あれ。キャプション入ります。

笠岡の南に広がる瀬戸内海には、大小30の島からなる笠岡諸島が連なっています。そのうち有人島は七つ

地方自慢リレートーク 第1回 岡山笠岡市の巻

で、一番近くの高島は、光が走り、海をなでる風が匂う島。ここでも、朝、漁から帰ったばかりの“とれとれ、ピチピチ”の魚料理を満喫することができます。遊漁船に乗って、「一日漁師」の生活も体験してみませんか。

海の町・潮風の香る町《かざおか》。晴れた日には、はるか瀬戸大橋や四国までもが望めます。

おいし魚を食べ、旨い酒を飲み、おおごに語り合ってみましょう。



■10月5日の「1000人のチェロin笠岡」でぜひお会いしましょう。皆さんのお越しをお待ちしています。詳細は7ページのお知らせページをご覧ください。

《No.010074・中村幸太郎》

【自慢は、やっぱり海の幸】

笠岡の沖合は、紀伊水道と豊後水道から流れ込む瀬戸内海の東西の潮流がぶつかり合うところ。エサのプランクトン類も豊富で、身のしまったおいしい魚が捕れることで、昔から有名なところ。市の魚のシャコをはじめ、カニ（ガザミや石蟹）・クロダイ・メバル・スズキ・タコ・エビなど、名前をあげればきりがなくほど、とにかくどれも捕れたてで新鮮。



純米吟醸酒 「音瀟 INTRO」

「今年の花見で飲んだイントロが美味しかった」という神戸事務局ボランティアスタッフの酒豪MOさんの一言を聞いて、創刊号のネタにぴったりとさっそく酒屋に走りました。

『音瀟 INTRO』は、『ふなぐち』で有名な新潟・菊水酒造の純米吟醸酒。ネーミングの由来については「この『音瀟』から日本酒の世界を楽しみ始めて欲しいとの思いからイントロと名づけました。日本酒へのいざないといったところでしょうか。また、瀟という文字には川の流れの穏やかな部分という意味があり、とかく流れの速い今という時間の中で‘ちょっと心穏やかに一息いれてみま

こじつけ gourmet vol.1



せんか?’ という含みがあります」(菊水酒造株式会社・武田晴信さん)。

「すっきりとした辛口タイプ」だそうですが、どちらかといえばほんのりとした甘さが第一印象。なによりも口に含んだ時の、あのパツと広がる香りが菊水ファンにはたまりません。純米酒の適度なコクと吟醸酒のなめらかさが楽しくて、個人的には「やや冷え」くらいがお薦めの温度。口当たりもよく、あつという間に1本空いてしまいました。お先にこそそうさまっ!

菊水純米吟醸
「音瀟 INTRO」720ml詰 ¥1,000
<http://www.kikusui-sake.com/home/>

（私の愛聴盤）

とあるコンサートホールで、ミッシャ・マイスキーのリサイタルを初めて聴いた時、チェロから醸し出される響きに酔いしれ、映画「昼下がりの情事」でオードリー・ヘップバーンがチェロを抱えて歩く姿がとてもしゃべりながら、ケースだけでも抱えて颯爽と歩きたいなんて思ったのが、私とチェロとの付き合いのきっかけだったような気がします。

バッハの『無伴奏チェロ組曲全集』（堤剛）や『チェロ小品曲集』（アルペジオーネ・ソナタD821）（ヨーヨー・マン）などのCDもすぐ求めましたが、小編成の異なる楽器同士とのアンサンブルも捨てがたいと思い始めて何年にもなります。音楽はどんなジャンルの物でも嫌いではありません。でもおしなべて言えば、室内楽がいいなと感じています。それぞれの楽器が持つ個性がよく分かるし、生き生きとした感触が楽しめるのです。

朝の目覚めには、モーツァルトの「フルート四重奏曲第一番K285」。身体全体をふわっと包み込むようなフルートと優しい弦たちとのアンサンブル、木管楽器独特のさわやかな響きは朝にぴったりでしょう。オーボエ四重奏曲もクラリネット四重奏曲も大好き。思わずほっとするひとときです。

食後はシューベルトの「ピアノトリオ作品99のD898」。勢いがあって何よりも深刺りしているところがいいし、さあ今からがんばるぞという気になってしまふ。メンデルスゾーンの「弦楽八重奏曲・変ホ長調作品20」はリズムカルで、それでいてロマンチックな響きが午後のおやつ時間に午度よいような気がします。

これらのアンサンブルの中で土台を担う大きな役割を果たすのがチェロ。表立って主張はしていないのですが、存在感があるってのがいいですね。

私は、鍵盤楽器の出身です。弦楽器を始めてみて、指で鍵盤を押さえていけば音が出るというものの落差、また、自分で音作りもしなければならぬという困難なことにぶつかって、音に対する鈍感さに初めて気づかされたのです。《No.10063・神上の局（ほほ）》



シューベルト
『The Piano Trios』(DECCA)
V. アシュケナーズ (Pf)
P. スッカーマン (Vn)
L. ナレル (Vc)



モーツァルト
『フルートカルテット』(SONY)
JP. ランバル (Fl)
I. スターン (Vn)
S. アッカルド (Va)
M. ロストロポーヴィッチ (Vc)

編集人的十メヨミ雑音記 第1回 初めの一歩

チェロを始めてようやく2年が経った。新しいことを始めるきっかけは人さまざまだが、私の場合、気持ちがどうしようもなく沈んでいる時の自分を奮い立たせる手段のひとつ、「落ち着いたらアレを始めよう」という動機づけによるものがほとんどだ。チェロの場合もその例外ではないけれど、「なぜチェロを？」と正面切って問われると、実は未だに答えに窮する。動機づけ以前の漠然としたきっかけがいっぱいあり過ぎて、全部説明するうちにきつと相手は退屈するだろうと思うとますますうまく説明できなくなるのである。でも、私が実際にチェロを手にするまでの道程にこの本の存在が大きくあったことは確か。今でも一番大切なお気に入り。それが伊勢英子さんの『カザルスへの旅』（中公文庫）である。

ブラド、バンドレル、クレモナ。作者の「カザルスを知りたい」14日間の旅は決してスマートではないけれども、出会いの奇跡とリリズムに満ちていて、いつかはこんな旅ができればいいなと思わせてくれる。同収の「パリひとり時代」では自分自身の体験と重なる部分を見出し、さらに宮澤賢治をめぐる「もうひとつの旅」と章を読み進めるうちに、作者を「カザルスへの旅」へと

駆り立てたチェロに対する思い、カザルスへの思いをますます感じる事となる。伊勢さんの文章に触れると、いつもどこかしらキュウツと心の奥底を掴まれるような感覚があつて、こういう本を読んでいる間の、時に真剣な、時に崩れた自分の表情は決して盗み見されたくはないなあ、などと思う。

チェロを始めてから自分の中で大きく変化したのはクラシック音楽へのアプローチ。幼

ねて雪崩を起こすこともしばしばある。

カザルス、コルトーとともに、黄金のトリオを結成したヴァイオリン奏者ジャック・ティボーの回想録『ヴァイオリンは語る』粟津則雄訳（白水Uブックス）は、そんな新鮮さを感じ始めた頃、単純に、書の冒頭にあったカザルストリオの写真を見て買い求めたもの。音楽一家に生まれ、すでに天分を発揮していた天真爛漫な子供時代からコートも買えないほど貧しかったコンセルヴァトワールの頃、コロヌ管弦楽団修行時代を経てデビューまでの日々が軽妙に綴られていて、特にユーモアたっぷりの会話記述はどれも生き生きとしていて楽しい。

カザルストリオ結成はこの数年後のことで、結局、著書の中ではほんの一言、しかもシューベルトの曲のついでに触れられている程度だったが、ヴァイオリニストの豊かな感性を確かめるべく、読後はトリオが演奏する『大公』をじっくりと聴いた。3度めの来日途上の飛行機事故で、彼はアルプス山中にはかなく消えてしまったそうだが、彼の楽しい語り口での＜トリオ回想録＞も読んでみたかったような気がする。

さて、本会報CELLISSIMOもトリオで編集することとなった。果たしてこちらのトリオは黄金のトリオとなり得るのだろうか？

《No.010112・編集人たばた》



い頃からの鍵盤楽器での「訓練」というイメージしかなかったクラシック音楽が新鮮に感じられるようになり、それに伴って、この2年間で求めたCDや本たちはもう山積み。この大事な宝の山には時折、家人の呆れたような視線が注がれるが、重い視線に耐えか

CELLISSIMO À.LA.CARTE

会員が所属する市民オーケストラやアンサンブル団体をご紹介します。

所属オケ紹介Vol.1

宮前フィルハーモニー 交響楽団 (神奈川県)

<http://www02.so-net.ne.jp/~atarime/mpo.htm>



創立●1991年5月
団員●92名 (内 Vc12名)
活動地域●川崎市宮前区を中心に活動。
団員の分布は川崎市、横浜市、東京都
活動内容●年2回定期演奏会に加え、子供向けの「音楽のおもちゃ箱」、商店街

盆踊りコンサートへの参加、川崎市第九公演の実施、栃木県那須町の水害被災に際して「ぐあんばれ那須町！応援コンサート」を実施するなど多彩
会費●月5000円 (入団費5000円)
練習●毎日曜日午前

直近の演奏会～7/21(日)14:00開演 宮前市民館大ホール
指揮 増井信貴 チャイコフスラヴ行進曲・Vn協奏曲(ソロ～久保田巧)・ブラ3

みなさん、こんにちは。このところようやく名前が知られるようになってきた宮前フィルです。それもそのはず、協会のみなさんにとっては、みっちゃんこと田原光子さんが所属しているオケで有名なのじゃないかなと思います。

田原さんは98年の『第1回1000人のチェロ・コンサート』に参加して以来、「1000分の5」など当時の気の合ったメンバーとの交流を長く続けてきました。今回の横浜公演でも実行委員会のメンバーとして日韓親善チェロコンサートをサポート。見事なウエルカムパーティの準備など精力的に活動されたのは周知の事実ですね。田原さんからのご紹介で、その横浜公演に宮前フィルからは、山縣紀子、新悦子の両名も参加。普段のオーケストラ活動とは違ったエネルギーと興奮、そして出逢いを得ました。

その田原さん、実は宮前フィルでも精力的に活動しており、今の役職は第17回定演実行委員長。エライのです。どんなことをするかというと、定演開催における集客、宣伝告知、販売、受付、楽屋、舞台セッティング、印刷などの各部門の総元締めというわけですね。7月21日の本番に向けてこれからが忙しさの本番。この実行委員会をオケの方向性などを検討する運営委員会がサポートします。その他、練習計画立案、トレーナーの諸先生や指揮者、ソリストとの調整および選曲内容の決定をする技術委員会があります。

宮前フィルの特徴は、こうした委員会活動が盛んに行なわれ(多すぎるとの意見もあります)、歩みを重ねてきたことにあります。11年前の創立当初はわずか12名でのスタートでした。

創立者守谷弘先生の指導でオケとしての骨格を作りました。守谷先生による最初の7年間で第1期です。楽器の保管場所がないため、大型楽器を保管する中古の保冷車を購入するために、団債を発行したこともあります。このトラック、いまでも大活躍。あちこちの市民館での練習への移動、そして団員の結婚式には帝国ホテルにもホテルオークラにも駆けつけることができます。



さて、第1期を越して、実力を付けたいという思いが強くメンバーにありました。そこで、新しく客演指揮者を呼ぶことに。それが98年のブラ4で増井信貴先生です。それまでに染みついてきた奏法の癖などに対して徹底的に洗礼を受けました。大化の改新と明治維新とアメリカ軍が一時にきたようなものです。わかっていただけですか。

以後、東芝フィルや横浜国大などで精力的にアマチュアオケのあるべき姿を示唆されている河地良智先生をお迎えし、多くの時間を河地先生からご指導を受けるようになりました。河地先生のおかげで、フランクの交響曲やブルックナーの4番とも出逢いました。そして音楽を楽しむ団体と

して社会に何かができるかということを見交し、その結果、宮前フィルからの提案として、那須町で「ぐあんばれ那須町！応援コンサート」を主催しました。99年のことです。その時の那須町のみなさんとの交流は1回限りの花火ではなく、2003年1月の那須町第九公演として正式に那須町からお仕事をいただくまでに発展、指揮はもちろん河地先生です。将来的に川崎市と那須町との姉妹都市構想も芽生え、宮前フィルの活動が一つずつ階段を上っていることを示しています。

こうした第2期、まさに音楽的成長を軸とした活動を目指す上で増井先生、河地先生をご紹介いただいたのが、宮前フィル創立以来の弦トレーナーであり、東京交響楽団でご活躍されたチェロの升田俊樹先生です。来年の山形県天童市での『1000人のチェロ・コンサート』を指揮されますので、この会報でもお名前がよく出てくるでしょうね。

子供たちへの音楽の楽しみの提供も、宮前フィルの大切な活動の一つです。完全週休2日制になり、それまでの土曜を使った音楽教室ができなくなったため、ホールに来場していただいていたクラシック音楽との触れあい活動をこの春から始めました。それが「音楽のおもちゃ箱」です。入場料無料の完全持ち出しですが、子供たちのきらきらした目を見ながらの演奏は、プレイヤーにとってこんなに嬉しいことはありません。今後も主要な活動として位置づけられていくと思います。

■お問い合わせ～宮前フィル事務局(藤代)
tel.045-902-6830

《宮前フィルコンサートマスター 新 巳喜男》

協会をリードする

新しい理事の体制が決まりました。

NPO国際チェロアンサンブル協会の臨時会員総会がさる5月18日(日)に神戸で開催されました。席上、新しい理事の体制が決まりましたので、お知らせします。いずれも任期は2004年3月31日です。

- 理事長 松本巧
 - 副理事長 白沢史子
 - 理事 石岡三洋、岩城雅邦、柏木武春、菅谷マサミ、相馬匡彦、寺田義彦、永山恭子、西村優子、井上ほのか、増川誠、山下伸子
 - 監事 山本康雄、黒川浩明
 - 【退任】藤井直(千葉)、沖正哉(横浜)
 - 【新任】相馬匡彦(東京)
- どうぞよろしくお願ひします。

クラシック専門誌「カンパネラ」にソウル公演が掲載されました。

アートユニオンから隔月で発行されている「カンパネラ」6月号の57ページに『韓日親善チェロコンサート・ソウル公演』の様子が速報という形で紹介されています。ソウルでのみなさんの活躍の様子がわかる内容です。横浜にもソウルにも参加された会員、宇野義雄さんへの取材という形で構成された記事です。ぜひ一読を。なお「カンパネラ」は大手書店、もしくはタワーレコードなど大手CDショップで販売されています。



原稿・情報募集

創刊されたばかりのNPO国際チェロアンサンブル協会会報『CELLISSIMO』は会員の皆さんで作るコミュニケーションペーパーです。それだけにみなさんからの元気いっばい、情報満載のフレッシュなインフォメーションのご提供を編集部一同、心待ちにしております。

- ・『音楽質問箱』での質問事項
 - ・『こじつけグルメ』
 - ・『私の愛聴盤』
 - ・『所属オケ・アンサンブル紹介』
 - ・掲示板の各種原稿および情報 お便り
- などチェロを愛好するみなさんに役立つ情報なら何でもOKです。なお、その際に必ず会員ナンバーとお名前(匿名ご希望の場合はペンネーム可)を明記してください。各字数は事前に編集部にご相談いただけると幸いです。詳しくは事務局まで。
tel.078-392-1194 fax.078-392-1195
e-mail: info@kobe-cello.com

次号は
10月中旬
発行予定
です。

Q&A

①

「あらためてチェロのメンテナンスについて」

このコーナーは皆さんからのさまざまな音楽に関する質問に対して、その道のプロにアドバイスをいただくコーナーです。初回は、昨年の「神戸国際チェロフェスティバル」のワークショップにもご参加いただいた荻野典男さん（下の写真右）に「チェロのメンテナンス」を初心者にもわかりやすく解説していただきました。

Q まず、日常の手入れや保管についてですが…。

演

奏後は駒付近の松脂と指板の汗も拭きとりますが、クロスは松脂がつきやすい部分用とそうでない部分とに分けましょう。指板に松脂がつくと滑りが悪くなり、弾きづらくなります。また、3カ月に一度くらいは、弦楽器専用のポリッシュを柔らかい布につけて汚れを拭き取りますが、その際、ポリッシュが弦につかないように気をつけてください。

保管で気をつけたい点は、ディスプレイスタンドに置いてある場合など、湿度と温度で梅雨時期にニカワが剥がれたりすることがあります。また冷暖房の時期には、吹き出しが直にあたりたり、急激に環境が変化するような場所には置かないように。高温多湿でニカワがはがれた場合の修理は、見た目よりも簡単に直せることが多いのですが、乾燥で生じたヒビは重症で大掛かりな修理が必要になるのです。

移動の際にも気をつける点はいろいろありますが、海外のように長時間の移動の場合は、必要以上に魂柱がきつくなっているかをチェック。きつすぎると衝撃で表板の割れにつながることもありま

Q 弓の毛替え時期は？

次の3つの目安があります。状況を見て判断してみてください。

- ① 「目で見て減っている」(1/4以上がなくなると弓の曲がりの原因になる)
- ② 「頻繁に松脂が必要と感じる」(シンフォニー演奏することを考えれば一時間ぐらいいは松脂補充をせずに快適に弾けることが必要)
- ③ 「毛が延びてしまった」

③「毛が延びてしまった」というのが毛替え時期の判断材料です。毛替えをせずに使い続けると弓にとってもよくないのはもちろん、弓の持ち方に変な癖がつく原因となります。適切なシグズンは特にありませんが、やはり毛の長さは湿度に大きく影響されます。毎日何時間も弾く演奏家は別として、普通は一年に一回の毛替えをお勧めしますが、その場合は台風の去った頃などの安定した気候の時期がよいのではないのでしょうか。

Q チェロ本体の調整が必要なのはどういつ時でしょうか？

音 が変わった、出にくい時です。チェロはヴァイオリンなどより大きいため、環境の影響を受けやすく、例えば、同じパーセンテージで木が動いた場合、実際に動く長さを換算すれば、チェロの方が断然大きな数字になります。

湿度の高低で表・裏板の上下が生じ、その結果、駒が低くあるいは高く感じようになります。季節により駒の高さが2〜3mmも変わる楽器もありますので、変わったと思ったら相談してください。駒の高さは弾きやすさだけでなく、弦全体の張力に関わるのでとても重要です。

Q 信頼できる楽器店さん、職人さんの見分け方は？

非 常に難しい質問ですが…。ひとこと言えば、物を売っているか、技術を売っているかということになるでしょう。調整の相談をしたのに、すぐ別な楽器を薦めたり、部品の交換を頻繁に勧めたりするのは感心できません。

音について言葉で表現することは難しいもの。そのため、十分に話を聞いてくれなければ、希望通りの調整をしてみえません。一度調整した楽器を試してみ、感想を求めてくれたり、再調整にも快く応じてくれる職人さんが理想。結局は人と人との関係ですから円滑なコミュニケーションがとれる人をお勧めします。昔ながらの職人気質というような傍若無人は案外、大したことがない場合もあるのです。

Q 最後に楽器に対するアドバイスをお願いします。

最 近、とても困っていることですが、世の中の流れとともに楽器も輸入

同じ理由で魂柱の調整も必要。Sound 84（音の柱）と呼ばれる魂柱は音質を左右する基本です。楽器の変化によって魂柱のきつさは容易に変化しますが、魂柱の位置、きつさは調整の基本ですが、これは経験が必要とされる微妙なもの。安直に自分で行なうことは楽器の損傷にもつながるので、プロにどうぞお任せを。

の安価、粗悪品が大量に出回っています。材料はもちろん、作りも規格外の粗悪品の横行には辟易してしまいます。こういうものをきちんと直して調整すると、価格を上回る金額がかかってしまうことも多いのです。笑えない話です。

楽器を手に入れる時には人や知識に頼って選ばないことです。音はAの楽器が好きなんだけど、同じ値段でもっと有名なBの楽器も手に入るなら、その方が得かもしれない…。というようなことは考えない方が、結果的には気に入った楽器を得られるでしょう。部品も交換できるのですから、あまり感わされないように。人に意見を求めて歩く人もいますが、自分をもっと信頼して自信をもって欲しいと思います。これは経験から断言できることです。そして手に入れた楽器を愛してください。そのためには、信頼できる関係を楽器店さんと築くことは大切なことですね。



荻野典男さんの「ボー・ヴァイオリン工房」(Beau Violin)

〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-6-22
シャンホール一番町401

tel.&fax. 022-213-2138

e-mail : beauvn@pastel.ocn.ne.jp
プリティッシュヴァイオリン製作者協会正会員
日本弦楽器製作者協会正会員

information board

掲 示 板

ボランティアスタッフ大募集!

『NPO 国際チェロアンサンブル協会』神戸事務局では、各国語の翻訳・通訳、データ入力、力作業、楽譜づくり、コンサートスタッフなど、イベントごとに発生するさまざまなお仕事を手伝ってくださる方を随時募集しています。詳しくは事務局まで。tel.078-392-1194 fax.078-392-1195 e-mail: info@kobe-cello.com

event

『高知Celloフェスティバル

inのいち

このたび高知にてチェロ・アンサンブルの演奏会を開催させていただくことになりました。高知では大規模なチェロ・アンサンブルの演奏会が開かれたことがなく、そして、もちろん多くのチェロ奏者が愛しているであろう『Hymnus』も演奏されたことがありません。高知に住む私たちは、ほかに憧れるだけであつたのですが、その高知初演がなんと実現しそうな運びとなってまいりました。これをご覧のチェロ奏者の皆様におかれましては、同企画にご賛同、お力添えを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。《No.010241・戒婚哲雄》

□日時

■7/20(土祝)

練習および懇親会(かつをのたまたき他、血鉢料理なぞいかが?)

■7/21(日)

練習、演奏会(14時より) 簡素に打ち上げ、その後太平洋を眺めながらバーベキュー

□場所

のいちふれあいセンター・サンホール(高知県香美郡野市町)

□演奏曲目

[第1ステージ]

『チェロ四重奏ステージ』(5組)
ジョブリンジ・エンターテイナー
スカラッティ/グラヴェとメヌエット
アヴェ・マリア
フンク/サラバンド
ビートルズナンバーより

[第2ステージ]『初心者組』

ウェルナー教則本より2曲(1st.ポジションのデュオ)
バッハ/メヌエット

[第3ステージ]『弾けそうな謎組』

ビートルズ/Help!(4組)
ヴィラ=ロボス/ブラジル風/バッハ/第1

番より第2曲(8部)、
ウェルナー/エレジー(4部)
[第4ステージ]『全員合奏』
フンク/組曲よりAdagio(4部)
ハイドン/Duett(2部)
クレンゲル/Hymnus(12部)
Over the Rainbow(4部)
□入場料無料
□主催
チェロ・アンサンブル『ひむぬす』
野市町ジュニア・オーケストラ
□エントリー資格
貸し楽器はありませんので、楽器を持ち込める方。パート分け作業を終えつつありますので、ご参加表明はお急ぎください。
□お問い合わせ
戒婚哲雄(かいのうてつお)
tkainou@ps.inforyoma.or.jp
高山百合子(たかやまゆりこ)
hai25670@ams.och.ne.jp

売ります

イタリア製チェロ(1980年頃作)弓・ハードケース付き40万円で

(支払い分割可)
tel&fax.011-613-0397
札幌市西区の中野さんまでお問い合わせください。
《No.010115・中野一》

concert

『札幌チェロアンサンブル・コンサート2002』

■6/24(月)19:00開演
ザ・ルーテルホール(札幌)
ハイドン/ディベルティメント
ヘンデル/グラベとフーガ
クレンゲル/テーマとバリエーション
ショパン/華麗なる序奏とポロネーズ
フィッツェンハーゲン協奏のフルツ
ヴィラ=ロボス/ブラジル風/バッハ/第5番
カザルス/サルターナ
3000円(自由席)発売中
ザ・ルーテルホールtel.011-251-1311

『東京芸術劇場シリーズ第63回』

■7/6(土)18:00開演 東京芸術劇場
ブラームス/ヴァイオリンとチェロのための協奏曲/短調作品102
ベートーヴェン/交響曲第3番『英雄』
指揮:ユベール・スターン
独奏:竹澤恭子(Vn)、堤剛(Vc)
S7000円、A6000円、B5000円、
学生(B)3000円、C2000円

『ベルリンフィル12人のチェリストたち』

■7/7(日)14:00開演
サントリーホール(東京)
クレンゲル/12人のチェロのための賛歌
ブラッヒャー/12の独奏チェロのためのブルース
エス/ニョーラ
ルンバ/フィルハーモニカ
ヴィラ=ロボス/『ブラジル風/バッハ』
第1番より
ヴィルヘルム・カイザー=リンデマン
12人のためのボサ・ノヴァ
ピアノ/カルリ:フーガと神秘
バーンスタイン/『ウェスト・サイド・ストーリー』より他
S8000円、A7000円、B6000円、
C5000円(発売中)
《同日18:45開演で追加公演あり》
ノア・チケットtel.03-5386-9999

『ルイス・クラレットチェロ・リサイタル』

■8/31(土)16:00開演
神戸新聞公方ホール(神戸)
ベートーヴェン/チェロ・ソナタ第2番
ブラームス/チェロ・ソナタ第2番
フォーレ/夢のあとに
サン=サーンス/白鳥
ファリャ/蜂
グラナドス/歌劇『ゴイエスカス』より
『間奏曲』
カサド愛の言葉
神谷郁代(Pf)
4000円(指定)

神戸新聞公方ホールtel.078-362-7191

『ミッシェル・マイスキー』

■10/1(火)19:00開演
札幌コンサートホール(札幌)
tel.011-241-5161
■10/4(金)19:00開演
春日市ふれあい文化センター(福岡)
tel.092-584-3366
■10/5(土)大阪・詳細未定
■10/9(水)19:00開演
サントリーホール(東京)
S9500円、A8000円、B6500円、
C4500円、学生2000円(発売中)、
tel.03-5467-0081
■10/11(金)19:00開演
所沢市民文化センター大ホール(埼玉)
S5000円、A4000円、B3000円、
C2000円(6月7日発売)
tel.042-998-7777
■10/14(月)16:00開演
熊谷文化創造館(埼玉)
S5000円(ペア席9000円)、A4000円
tel.048-532-0002
■10/15(火)18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール
tel.052-957-3333
■10/18(金)19:00開演
王子ホール(東京)
8000円(全席指定)
tel.03-3567-9990

事務局からお知らせとお願い

正式事務職員の方の着任が8月初旬の予定です。日韓も終わり、まだまだ赤字財政ですのでそれまでは空席のままです。事務局長が海外出張の折りは電話の転送も届きません。お急ぎの方は事務局長の会社(tel.078-925-4194)までお電話くだされば、すぐに対応させていただきます。お急ぎでない方はfaxでご用件をください。いずれも2002年7月末までの措置です。

いよいよ会報の発行までご着けました。地理的にも離れているスタッフ3名での初仕事でもあります。ここに紹介を兼ねて合同編集後記とさせていただきます。

★1年前から会報の発行をまかされたのですが、その後、『日韓親善チェロコンサート』の準備に追われ、のびのびになっていました。新さんや田畑さんの献身的な協力のお陰で何とか発刊の運びになりました。会報CELELISSIMOはICESの広報誌であると同時に、会員同士のコミュニケーションの場でもあります。皆さんからのご意見などいただきますが、紙面を充実させ、会員の結束と会のPRに役立つことを使命としています。(横浜/沖正哉)

★1st. motionはイタリア語の形容詞絶対最上級を作る接尾語。というわけで会報タイトルは「この上もなくチェロ的」「くだれた訳語なら「めっちゃチェロっぽい」といったところでしょうか。NPOの活動に関わって1年半。これほどチェロの世界にどっぷり浸るとは想像だにしませんでしたが、いろんな意味で自分の世界が広がっていることを実感する近頃です。皆さんのおしゃべり場となる会報づくりに参加できたこともその一つ。ベリッシモな(美しい)音楽の世界とヴォニッシモな(美味い)情報をいっぱいお届けしたいと思います。(神戸/田畑久美子)

★『日韓親善チェロコンサート』のチラシ・プログラム作りのお手伝いに参加して以来、めつきりチェロ奏者の友人が増えました。ヴァイオリン弾きとしてはこれは大変嬉しいことで、低音がしっかりしているとその上に乗っかればいいのですから、これはラクチンです。協会の発展と会員の皆さんへの有益な情報提供、そしてうねりのようなアンサンブルの輪の広がりを期待しているもの一人として、これからも企画編集・デザイン・印刷でさまざまなお手伝いをしたいと思えます。(川崎/新巳喜男)

編集後記